

「ニュースリリース」

需要予測まとまる

20年度は、国内・輸出ともに上期実績に比べ下期は大きく回復するものの、通期では新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少すると見込。

21年度は国内横ばい、輸出が回復し、全体では増加に転じると予測。

2020年度の出荷金額は、1兆8,325億円（前年同期比16%減少）と見込。

2021年度の出荷金額は、1兆8,758億円（前年同期比2%増加）と予測。

国内出荷：2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、上期計では、建設用クレーンの前年同期比24%減少を始め7機種が減少し、3,969億円（前年同期比13%減少）となりました。下期は、消費税増税後の反動減からの回復、また公共投資に支えられ、主力機種である油圧ショベル、ミニショベル等が回復し、下期計では、4,447億円（前年同期比1%増加）と見込まれます。この結果、2020年度合計では、8,416億円（前年同期比6%減少）となり3年振りに減少すると見込まれます。2021年度は、土工系機械は前年並みで推移するものの、住宅投資及び民間設備投資の落ち込みにより建築系機械が減少すると予測され、上期計では、3,865億円（前年同期比3%減少）、下期計では、4,433億円（前年同期並み）と予測しております。この結果、2021年度合計では、8,298億円（前年同期比1%減少）となり、2年連続の減少と予測しております。

輸出：2020年度は、国内と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全9機種が減少し、上期計では4,416億円（前年同期比39%減少）となりました。下期は、減少幅は縮小するものの回復には至らず、下期計では、5,493億円（前年同期比2%減少）と見込まれます。この結果、2020年度合計では、9,909億円（前年同期比23%減少）となり、2年連続で減少すると見込まれます。

2021年度は、3大輸出先（北米、欧州、アジア）を中心に多くの機種の需要が回復すると予測し、上期計では4,739億円（前年同期比7%増加）、下期計では5,721億円（前年同期比4%増加）と予測しております。この結果、2021年度合計では、1兆460億円（前年同期比6%増加）となり、3年振りの増加と予測しております。

需要予測結果の概要

		今回予測（本年2月）		前回予測における前年同期比 （昨年8月）（%）
		金額（百万円）	前年同期比（%）	
2020年度 上期実績	国内	396,906	87	91
	輸出	441,618	61	72
	合計	838,524	72	79
2020年度 下期見込	国内	444,700	101	98
	輸出	549,300	98	86
	合計	994,000	99	92
2020年度 合計見込	国内	841,606	94	95
	輸出	990,918	77	78
	合計	1,832,524	84	85
2021年度 上期予測	国内	386,500	97	98
	輸出	473,900	107	111
	合計	860,400	103	105
2021年度 下期予測	国内	443,300	100	100
	輸出	572,100	104	109
	合計	1,015,400	102	105
2021年度 合計予測	国内	829,800	99	99
	輸出	1,046,000	106	110
	合計	1,875,800	102	105

注1 補給部品は含みません。

一般社団法人日本建設機械工業会（会長 数見 保暢）が、本年1月時点で正会員である建設機械メーカー63社を対象に実施した需要予測結果を取りまとめたものです。予測期間とした2020年度下期と2021年度上下期の3期に関して、建設機械を9機種に区分し、国内及び海外への出荷金額をアンケート方式により予測調査をしたものであり、今回で59回目の調査です。

建設機械需要予測

2021/2/24
一般社団法人日本建設機械工業会

2020年度見込

上段：金額 百万円
下段：対前年同期比指数 %

	上期実績			下期見込			年度見込		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計
トラクタ	42,735	52,158	94,893	64,200	52,100	116,300	106,935	104,258	211,193
	79	63	69	96	95	96	88	75	81
油圧ショベル	138,576	192,357	330,933	155,700	262,000	417,700	294,276	454,357	748,633
	97	55	67	112	104	107	104	76	85
ミニショベル	40,912	93,945	134,857	42,100	114,700	156,800	83,012	208,645	291,657
	89	76	80	105	107	106	97	90	92
建設用クレーン	81,644	29,616	111,260	83,300	32,000	115,300	164,944	61,616	226,560
	76	70	74	91	75	86	83	72	80
道路機械	18,480	7,979	26,459	22,700	10,100	32,800	41,180	18,079	59,259
	104	71	91	101	103	102	102	86	97
コンクリート機械	16,063	442	16,505	14,700	500	15,200	30,763	942	31,705
	101	55	98	99	97	99	100	74	99
基礎機械	17,384	2,532	19,916	16,400	1,500	17,900	33,784	4,032	37,816
	79	88	80	87	78	86	83	84	83
油圧ブレーカ	9,079	2,992	12,071	9,000	3,800	12,800	18,079	6,792	24,871
油圧圧砕機	86	71	82	89	85	88	88	79	85
その他建設機械	32,033	59,597	91,630	36,600	72,600	109,200	68,633	132,197	200,830
	86	58	66	97	83	87	92	70	76
合計	396,906	441,618	838,524	444,700	549,300	994,000	841,606	990,918	1,832,524
	87	61	72	101	98	99	94	77	84

建設機械需要予測

2021/2/24
一般社団法人日本建設機械工業会

2021年度予測

上段：金額 百万円
下段：対前年同期比指数 %

	上期予測			下期予測			年度予測		
	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計	国内	輸出	合計
トラクタ	44,900	53,700	98,600	69,300	53,700	123,000	114,200	107,400	221,600
	105	103	104	108	103	106	107	103	105
油圧ショベル	138,600	211,600	350,200	154,100	267,200	421,300	292,700	478,800	771,500
	100	110	106	99	102	101	99	105	103
ミニショベル	40,100	98,600	138,700	42,900	118,100	161,000	83,000	216,700	299,700
	98	105	103	102	103	103	100	104	103
建設用クレーン	73,500	30,500	104,000	79,100	33,900	113,000	152,600	64,400	217,000
	90	103	93	95	106	98	93	105	96
道路機械	18,800	8,400	27,200	23,400	10,600	34,000	42,200	19,000	61,200
	102	105	103	103	105	104	102	105	103
コンクリート機械	15,700	400	16,100	14,300	500	14,800	30,000	900	30,900
	98	94	98	97	96	97	98	96	97
基礎機械	14,300	2,100	16,400	13,800	1,200	15,000	28,100	3,300	31,400
	82	83	82	84	77	84	83	82	83
油圧ブレーカ	8,600	3,000	11,600	9,100	4,100	13,200	17,700	7,100	24,800
油圧圧砕機	95	101	96	101	107	103	98	105	100
その他建設機械	32,000	65,600	97,600	37,300	82,800	120,100	69,300	148,400	217,700
	100	110	107	102	114	110	101	112	108
合計	386,500	473,900	860,400	443,300	572,100	1,015,400	829,800	1,046,000	1,875,800
	97	107	103	100	104	102	99	106	102



一般社団法人 日本建設機械工業会 会長記者会見

2021(令和3)年2月24日

会長 数見 保暢

会長記者会見 次第

●記者会見

- | | | | |
|------|---|------------------|-------------|
| 1. 開 | 会 | : 浦島広報部会長 | 11:00 |
| 2. 報 | 告 | : 数見会長 | 11:05～11:30 |
| | | ・建設機械需要予測(出荷ベース) | |
| 3. 質 | 疑 | 応答 | 11:30～11:55 |
| 4. 閉 | 会 | : 浦島広報部会長 | 11:55 |

●次回(予定) : 2021年8月26日(木)

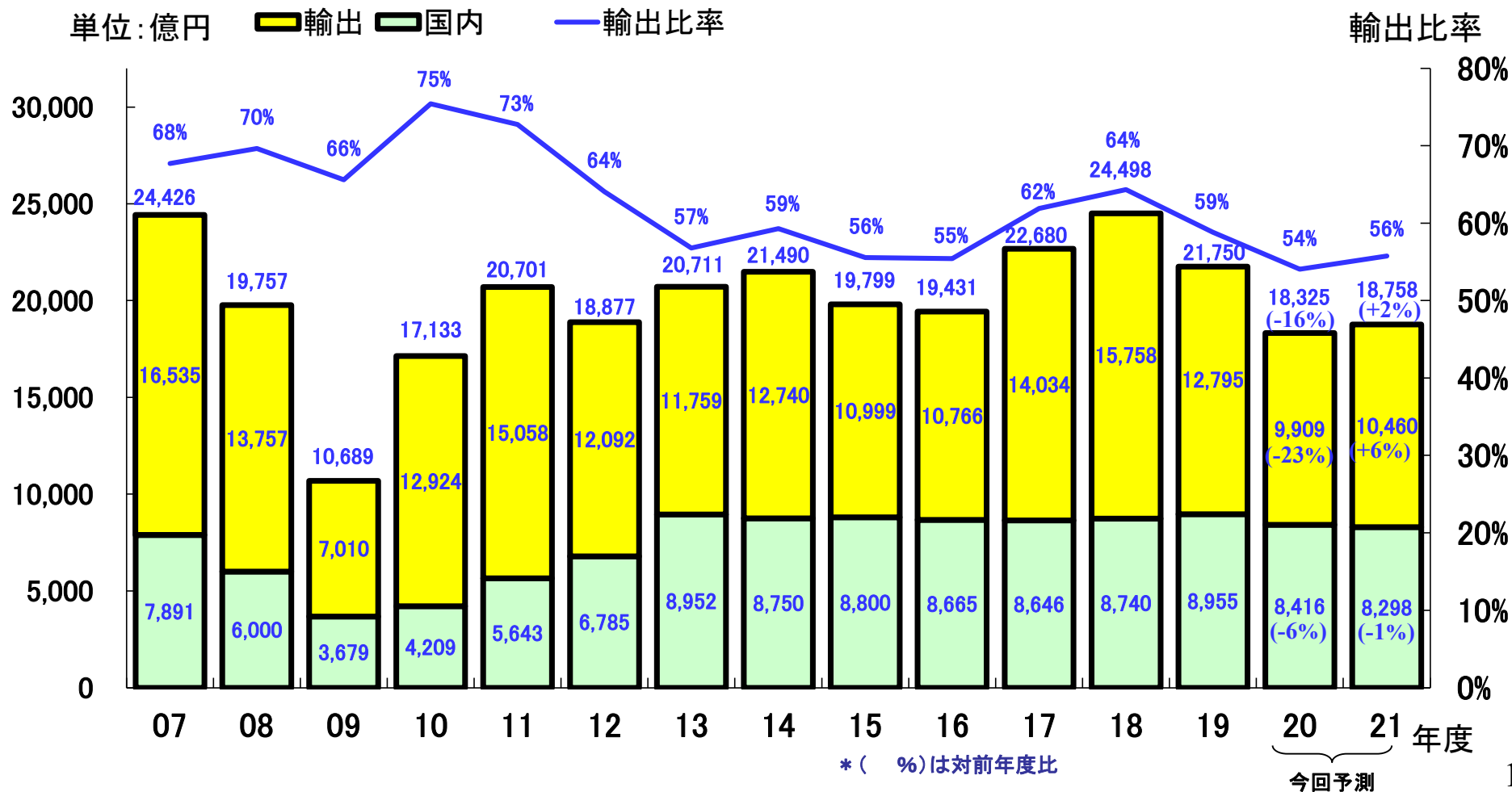
需要予測1：本体出荷金額(年度ベース)



建設機械本体出荷金額の推移(年度)

20年度は新型コロナウイルスの影響で減少。21年度は輸出が回復し増加。

単位：億円 輸出 国内 輸出比率

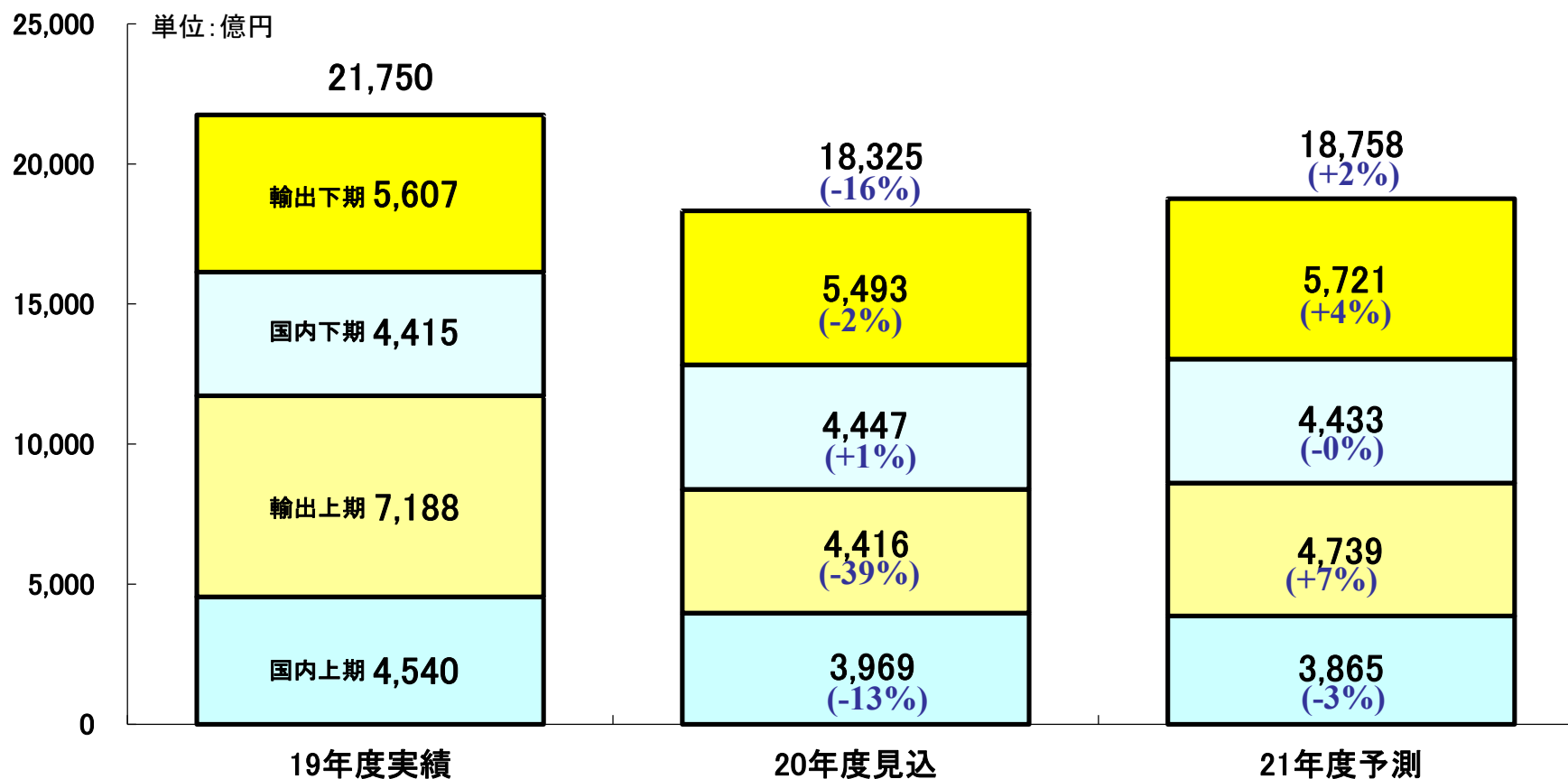


需要予測2: 本体出荷金額(半期比較)



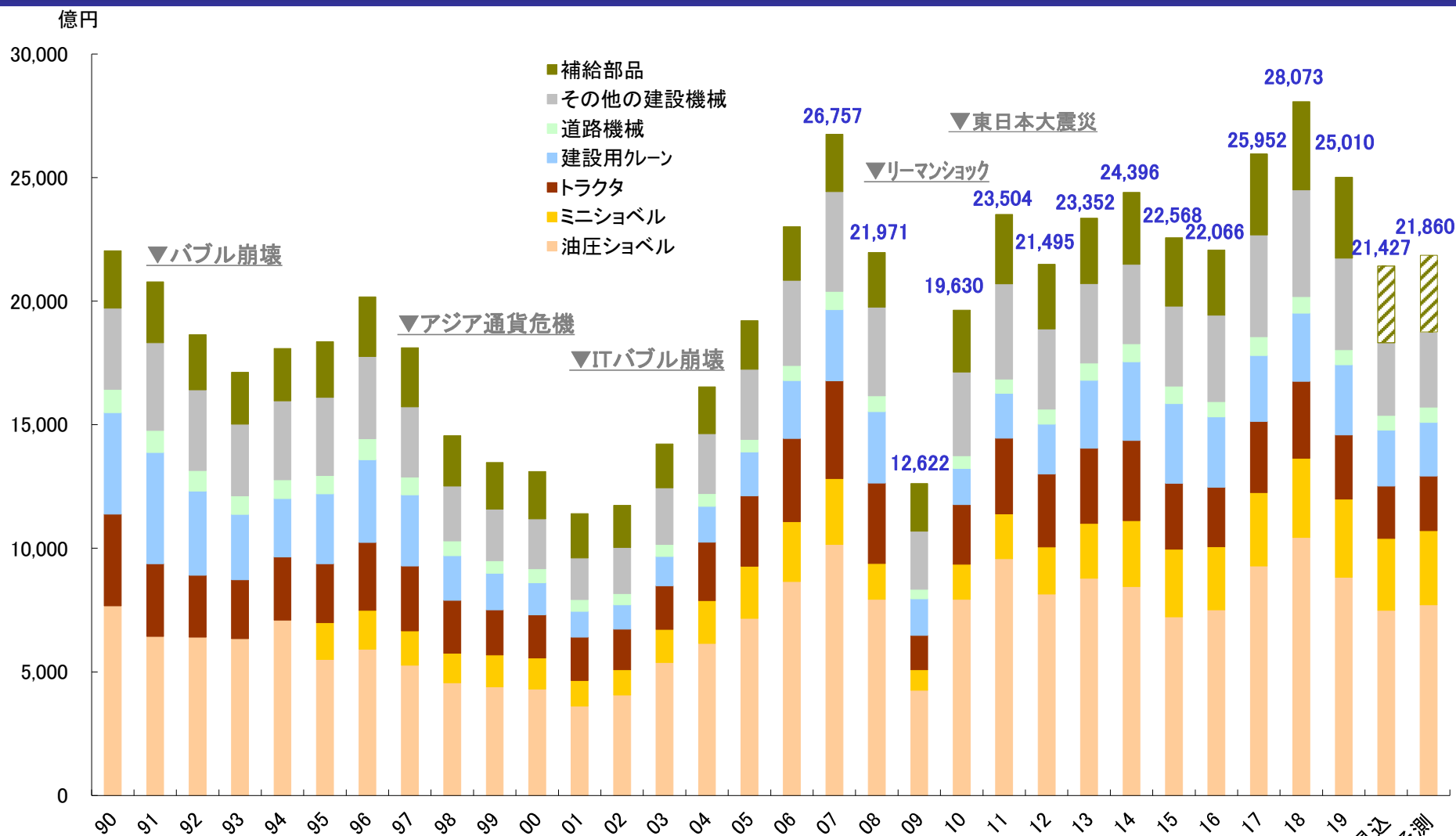
建設機械本体出荷金額(半期比較)

20年度上期は国内・輸出とも大幅に減少も、下期は前年同期並みで、通年は16%減少。
21年度は上期・下期とも輸出の伸びが見込まれる一方、国内は微減で、通年は2%増加。



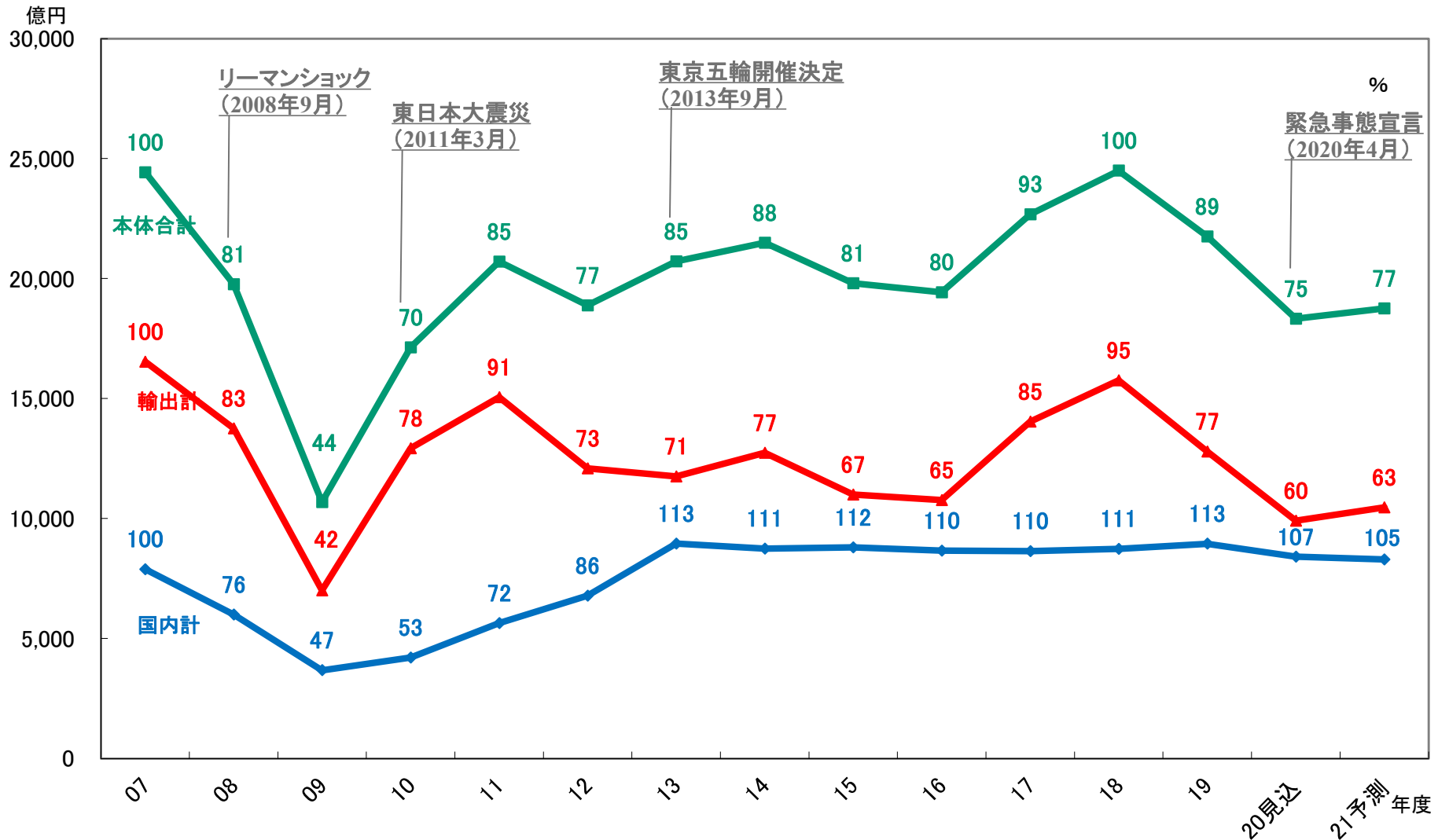
* (%)は対前年同期比

建設機械機種別出荷金額の推移



* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース。ただし、補給部品の20年度および21年度予測については、過去5年間の平均額(3,102億円)とする。
出典: 建機工自主統計

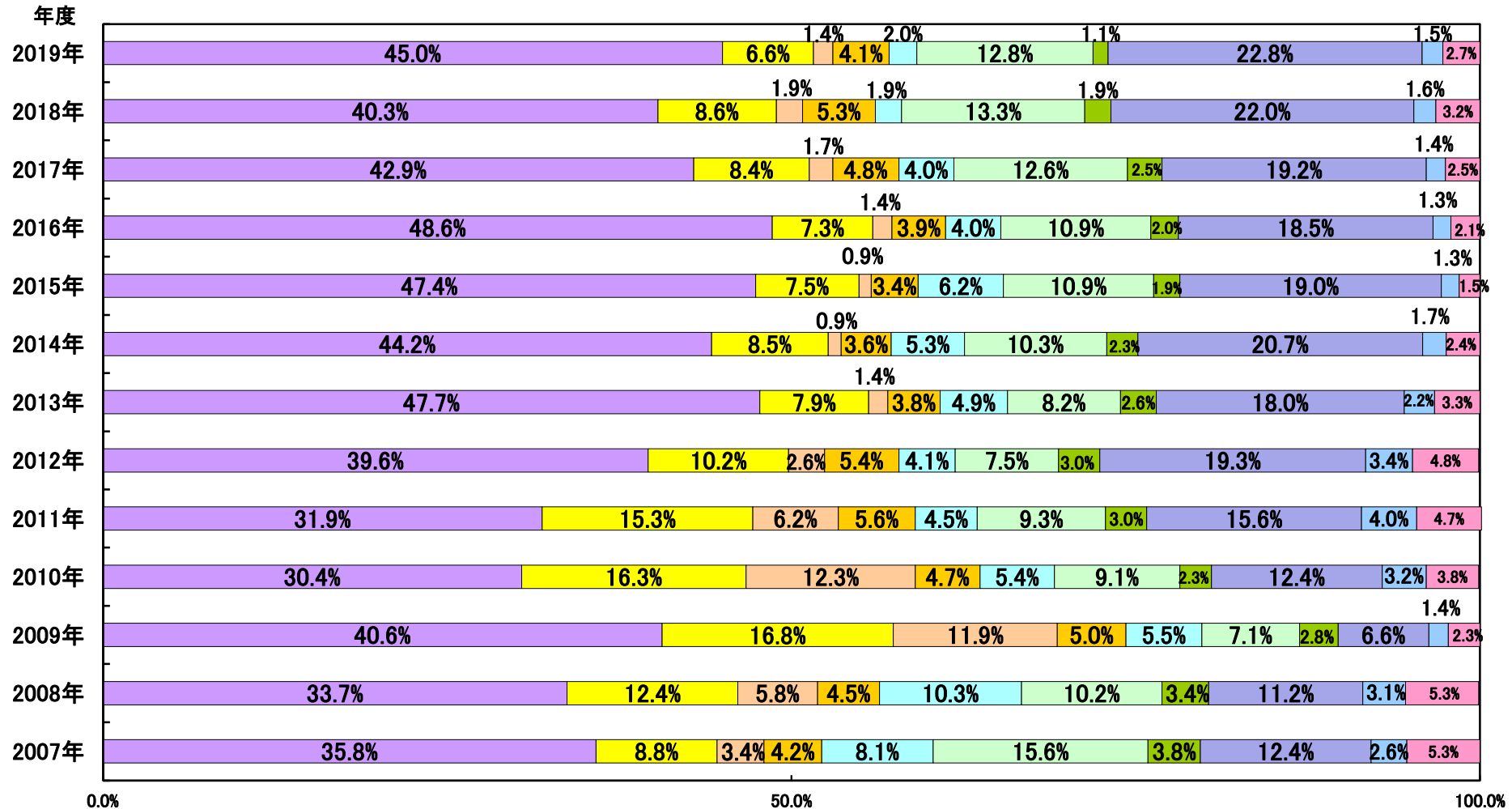
建設機械出荷金額推移:2007~2021年(年度)



* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の指数(2007年度出荷金額を100とする)
出典:建機工自主統計

仕向先別出荷金額推移(構成比):2007~2019年度(参考)

■ 国内 ■ アジア(中国除く) ■ 中国 ■ オセアニア ■ 中近東(含エジプト) ■ 欧州 ■ アフリカ ■ 北米 ■ 中南米 ■ CISその他東欧



* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレードカ圧碎機、その他建設機械)
 の出荷金額ベース(コンポーネント含まず)
 出典:建機工自主統計

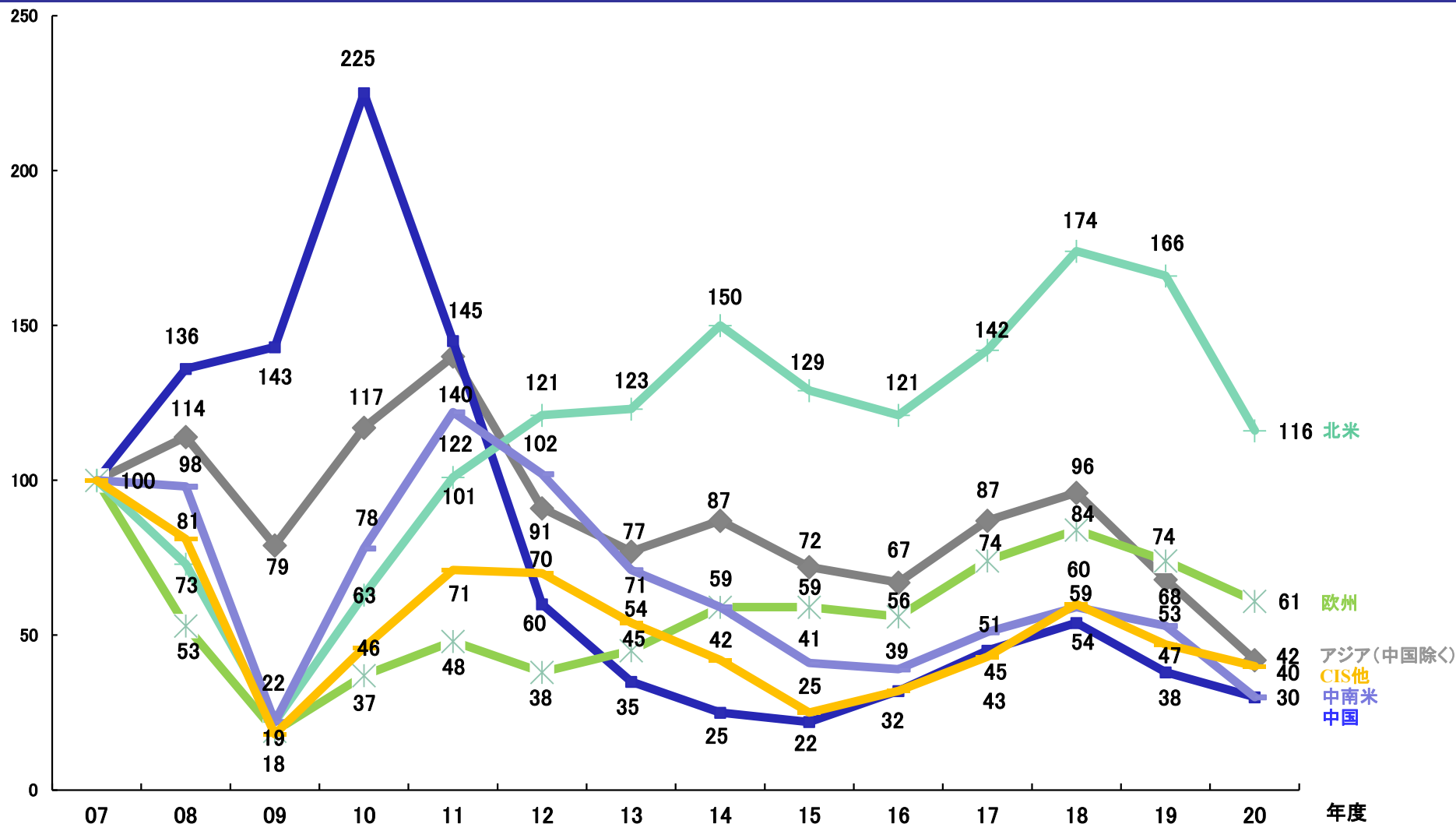
仕向先別出荷金額推移(構成比)

■ 国内 ■ アジア(中国除く) ■ 中国 ■ オセアニア ■ 中近東(含エジプト) ■ 欧州 ■ アフリカ ■ 北米 ■ 中南米 ■ CISその他東欧



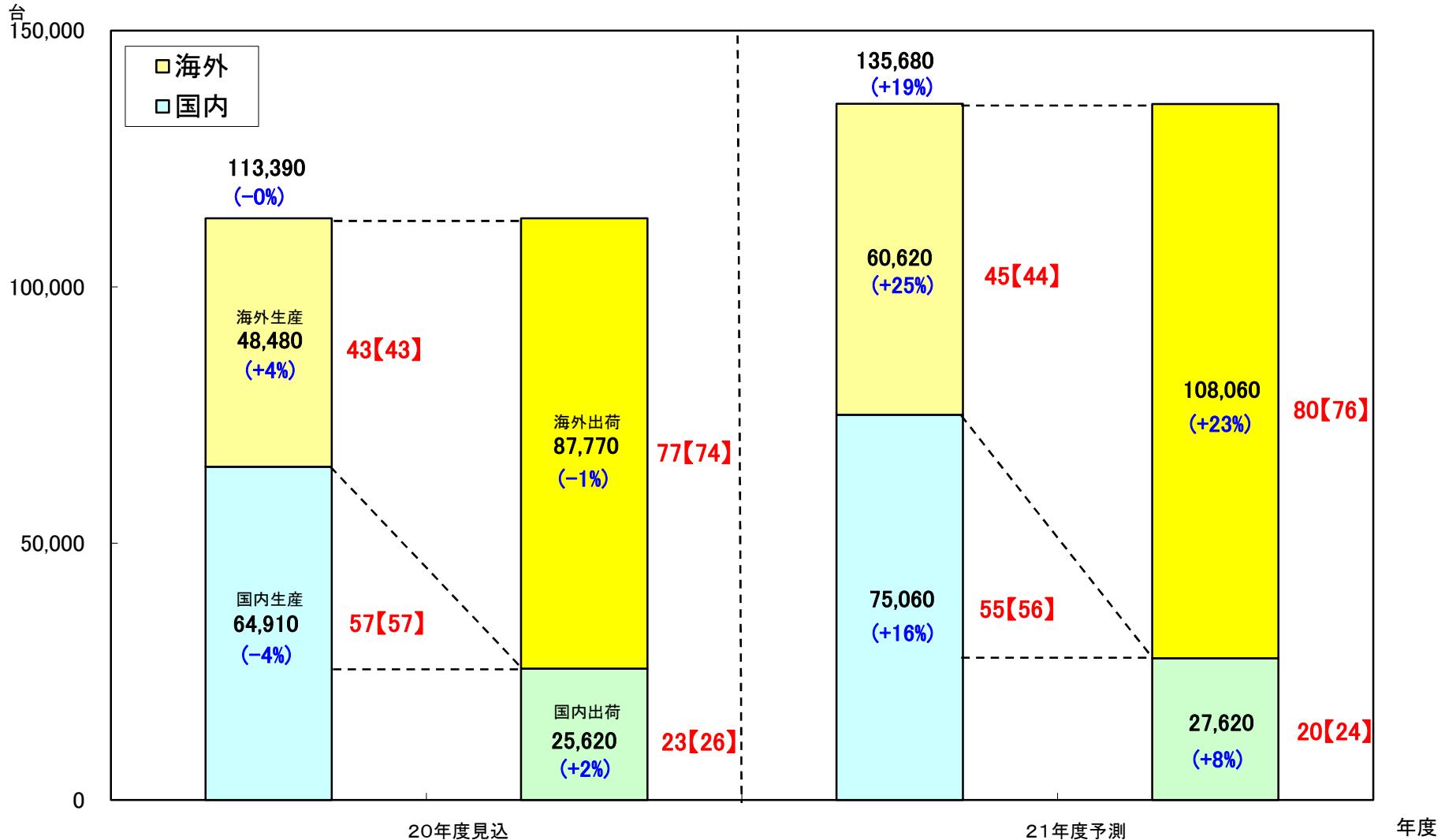
* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧碎機、その他建設機械)
 の出荷金額ベース(コンポーネント含まず) 出典:建機工自主統計

仕向先別出荷金額推移(2007年度を100とする指数)



* 9機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額の指数(2007年出荷金額を100とする)
 注)2020年度は4~12月の仕向け先実績より予測 出典:建機工自主統計

国内メーカーの生産・出荷見通し(油圧ショベル)

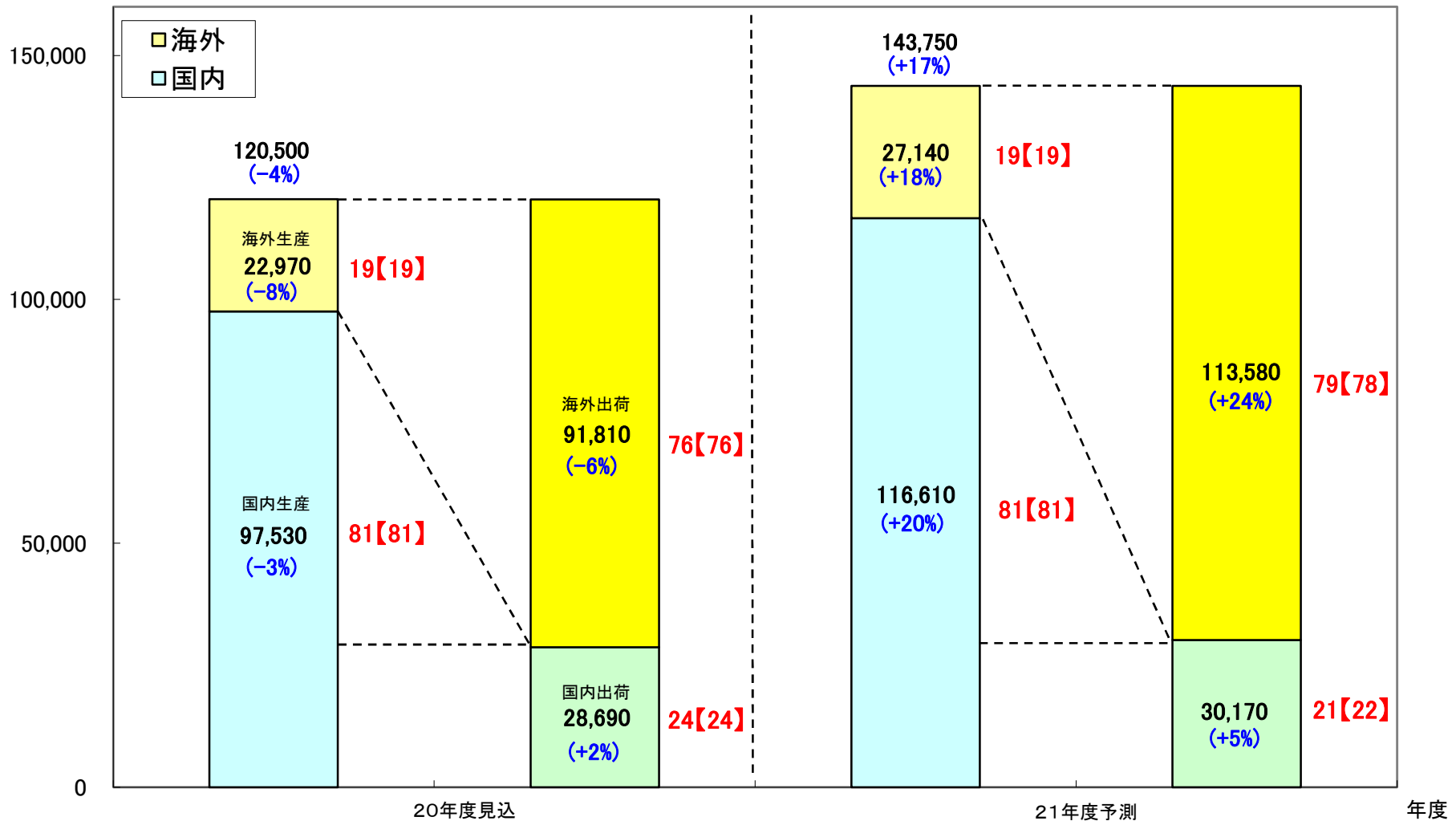


* 油圧ショベルの生産台数ベース
 * 赤字は国内海外比率。【 】内は、8月時点の見通し値 ()内は、前年度比。
 出典: 建機工調べ

国内メーカーの生産・出荷見通し(ミニショベル)



台



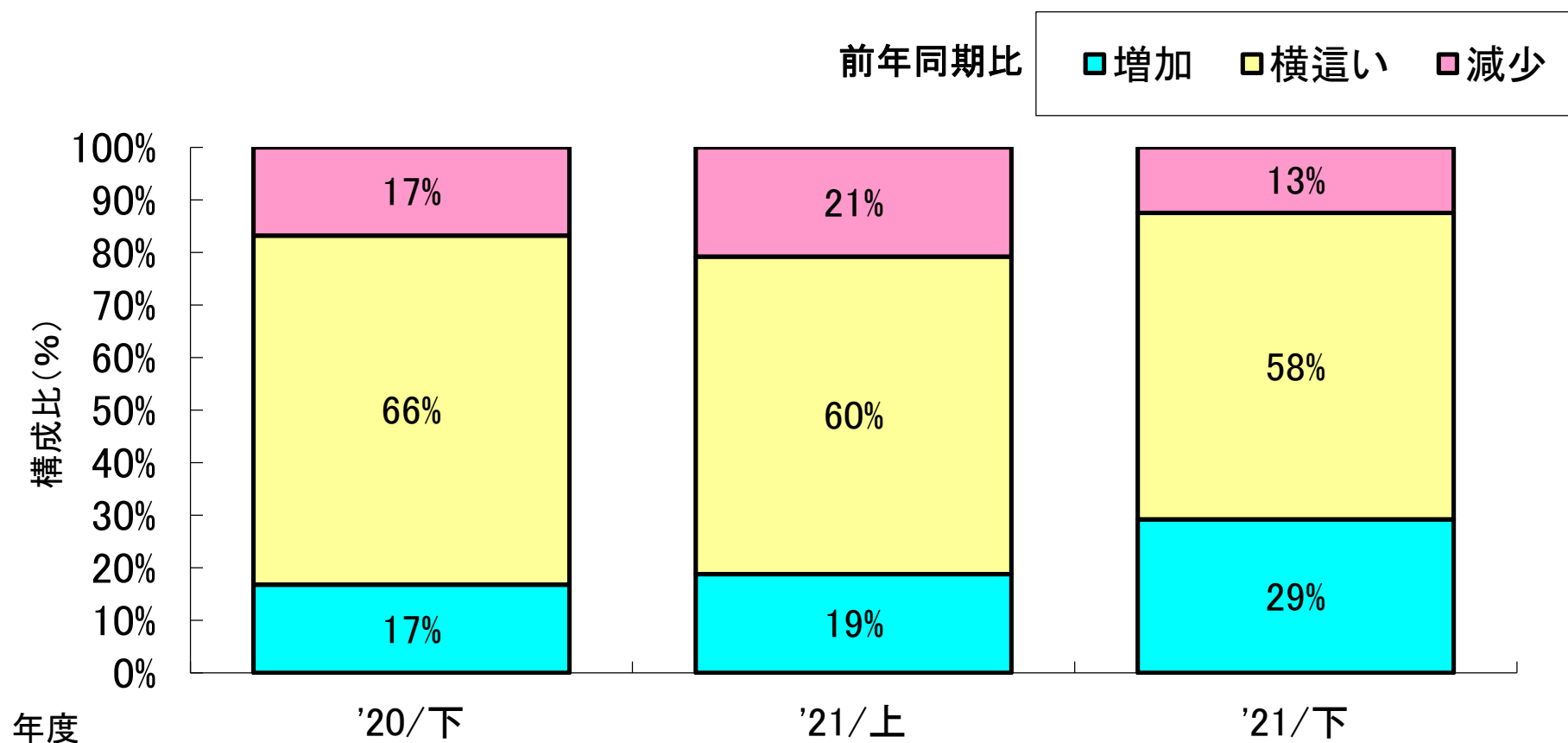
* ミニショベルの生産台数ベース
 * 赤字は国内海外比率。【 】内は、8月時点の見通し値 ()内は、前年度比。
 出典: 建機工調べ

国内需要予測の背景1 (会員の見方)



公共投資

横這いが大勢を占めるも、21年度下期には増加の見方が増える。

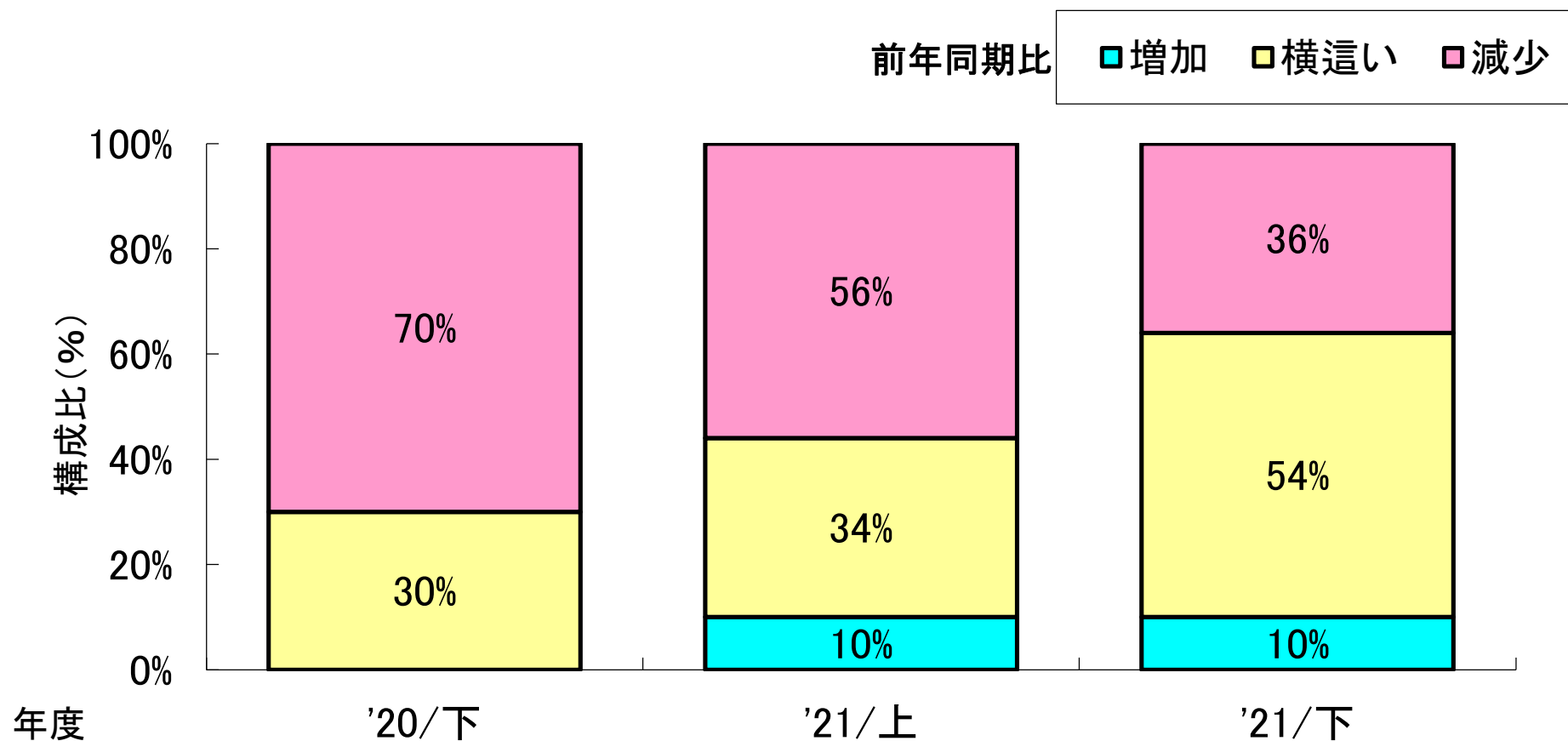


国内需要予測の背景2 (会員の見方)



民間設備投資

20年度は増加の見方なし。21年度下期は横這いの見方が増える。

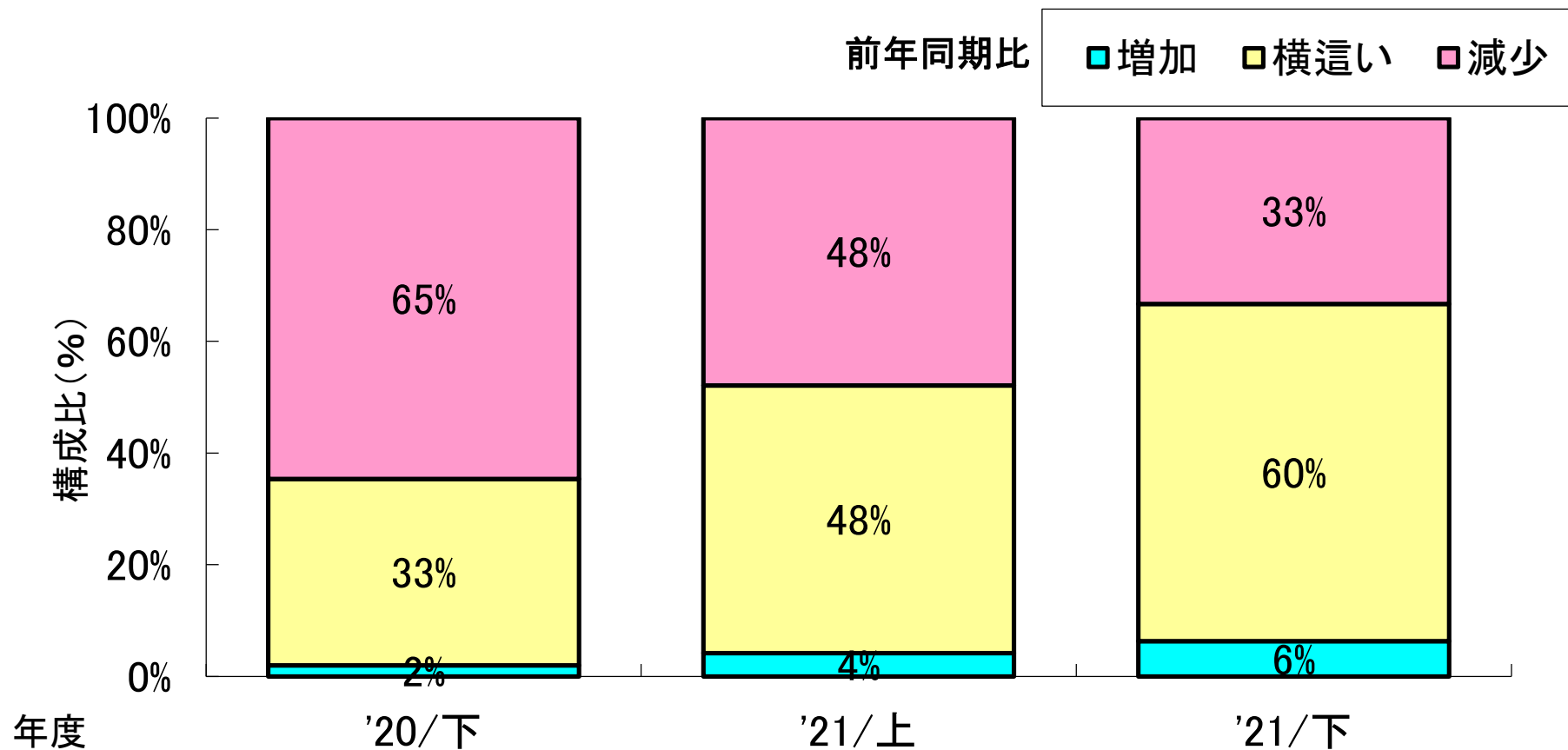


国内需要予測の背景3(会員の見方)



住宅投資

20年度減少が大勢占めるも、21年度上期から横這いの見方が増える。

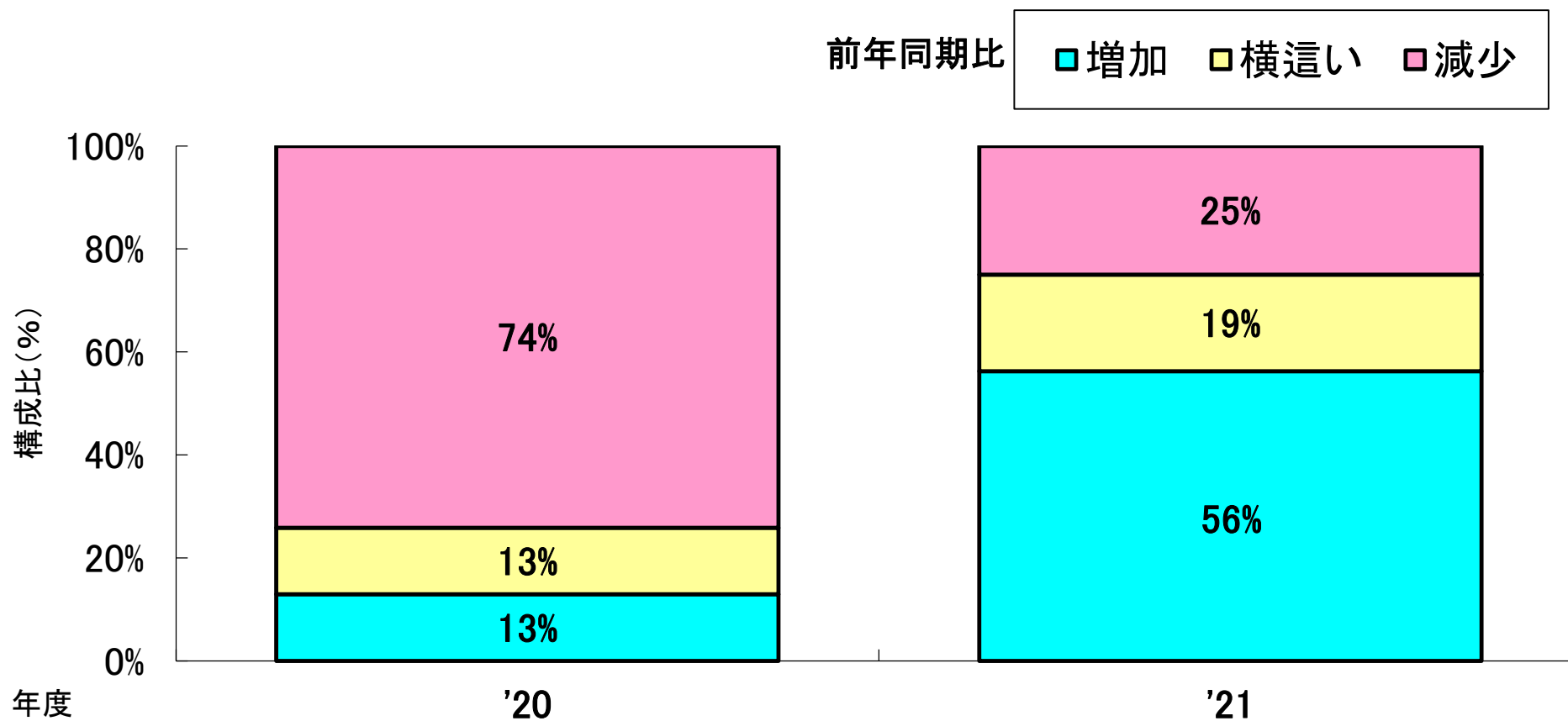


海外需要予測の背景1 (会員の見方)



北米市場の動向

20年度は減少が大勢を占める。21年度は増加の見方が大きく増える。

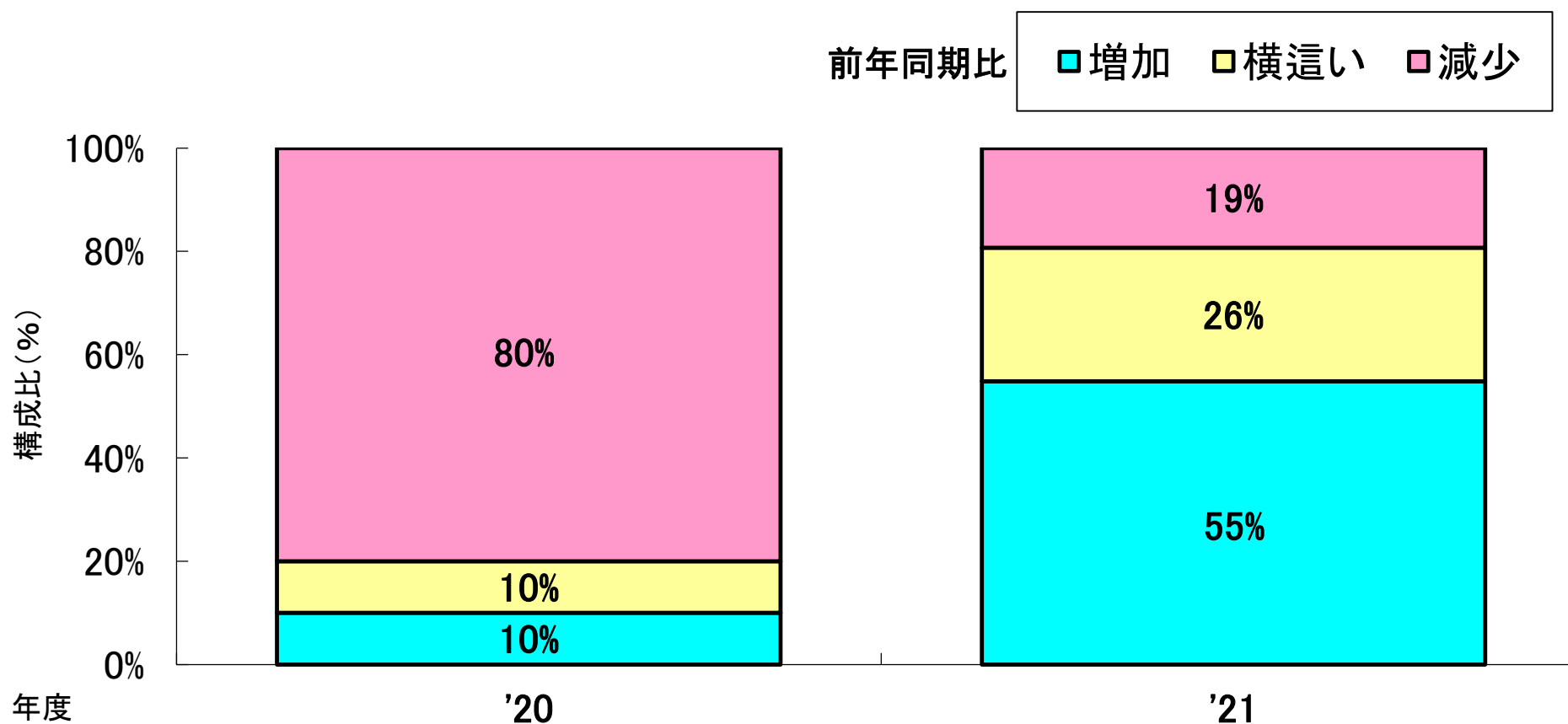


海外需要予測の背景2 (会員の見方)



欧州市場の動向

20年度は減少が大勢を占める。21年度は増加の見方が大きく増える。

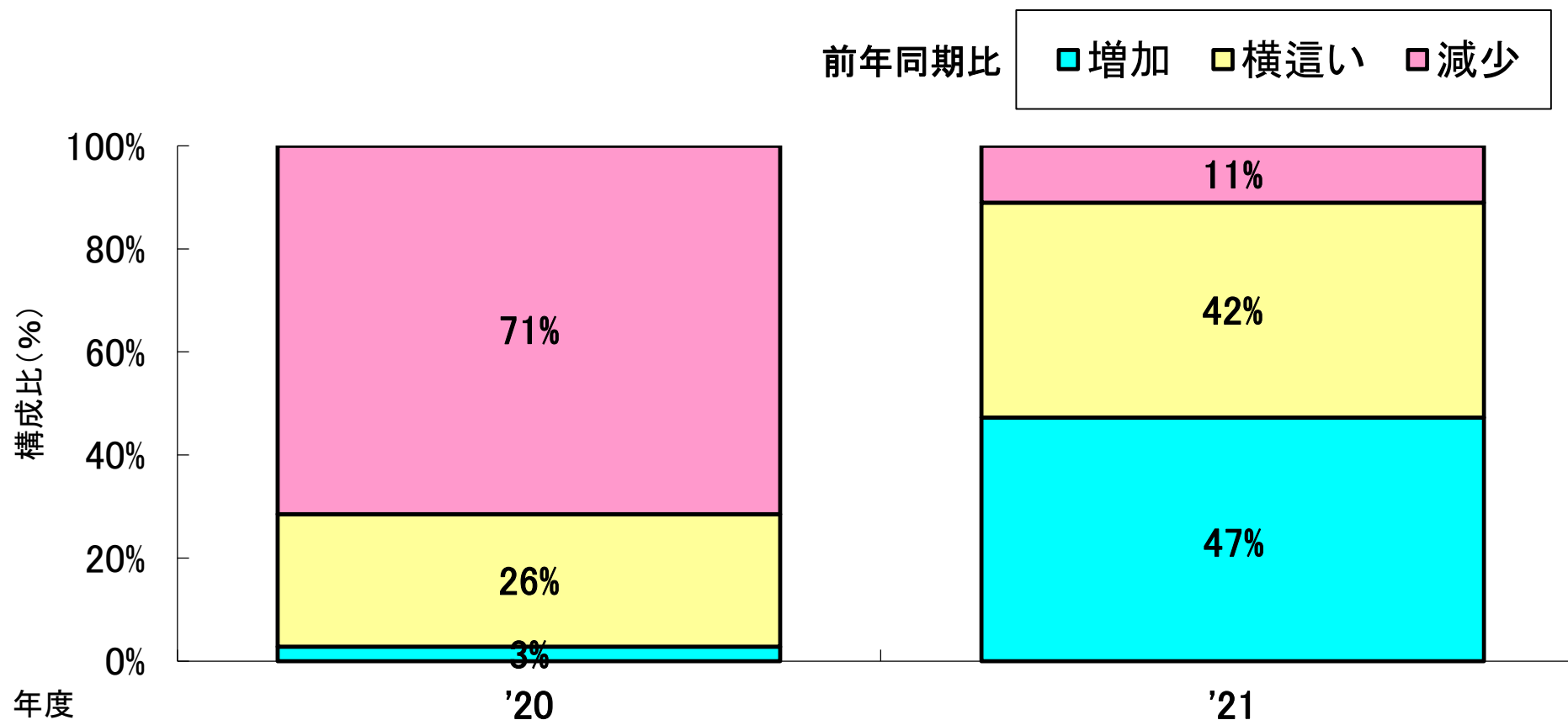


海外需要予測の背景3 (会員の見方)



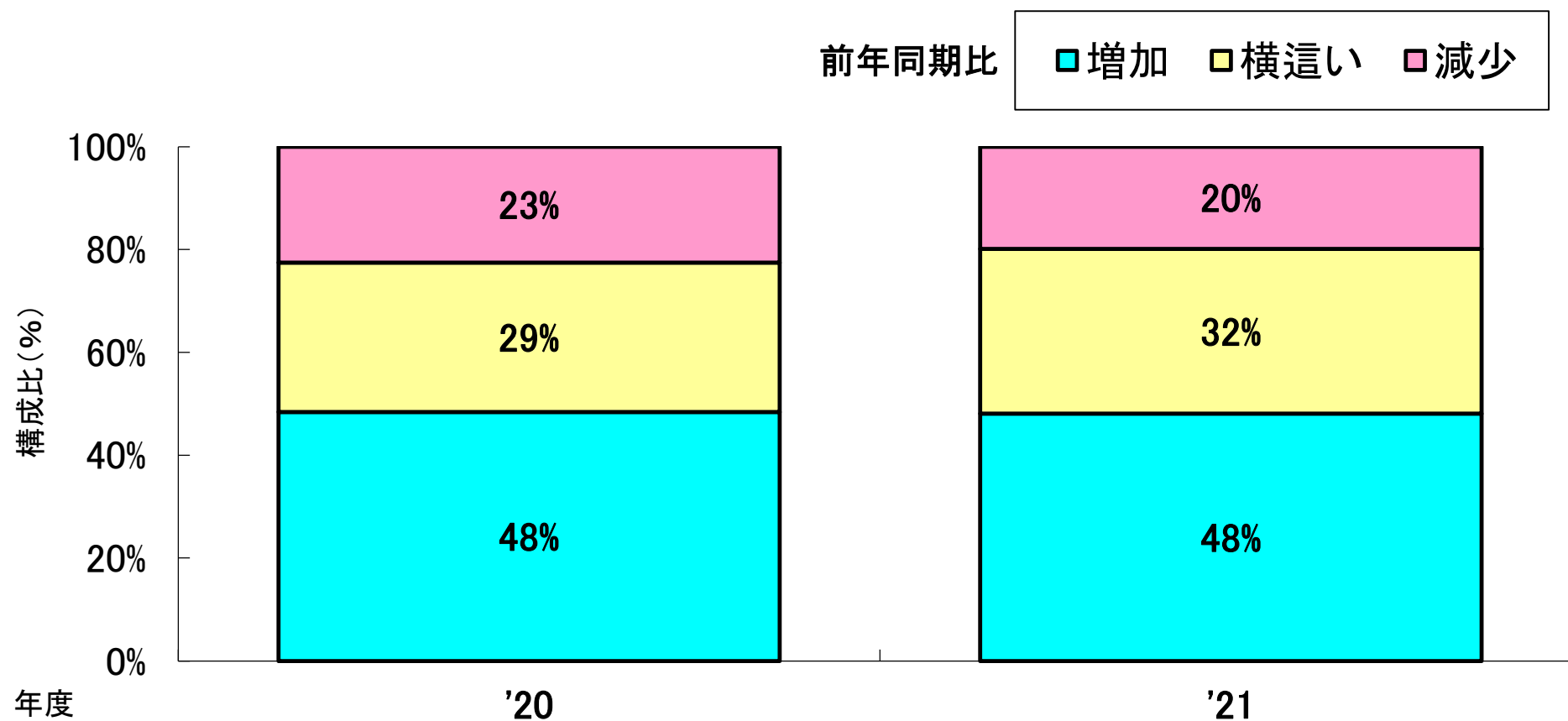
中国を除くアジア市場の動向(含むオセアニア)

20年度は減少が大勢を占める。21年度は増加の見方が増える。



中国市場の動向

20年度は増加の見方が多い。21年度も引き続き増加の見方が多い。



感染拡大の影響からの本格的な回復までに予想される期間

	国内向け出荷		海外向け出荷	
	今回12月末	前回7月末	今回12月末	前回7月末
1か月	4%	5%	4%	0%
2～3か月	2%	11%	2%	4%
半年	34%	23%	16%	15%
1年	26%	32%	31%	33%
1年以上	34%	30%	47%	48%

○具体的な影響の例(複数回答可)

	今回12月末	前回7月末
会社全体の売上減少	23%	23%
国内、海外拠点間での生産連携の乱れ(納入遅れなど)	10%	11%
海外への出荷の遅れ	10%	9%
輸出入手続に関する遅れ、煩雑化など	10%	6%